

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

事業名 職業能力開発施設整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課職業能力開発係 電話番号：058-272-1111(内3671)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 13,820 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	13,820	0	0	0	0	0	0	0	13,820
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

職業能力開発促進法に基づき、県が設置・運営する職業能力開発施設である「国際たくみアカデミー」(美濃加茂市)は、短期大学校と開発校を併設しており、モノづくりの実践・実技を中心とした即戦力となる人材育成を目指した訓練を行っている。

職業能力開発校は昭和57年3月に竣工、築40年が経過。職業能力開発短期大学校は平成17年3月竣工、築18年が経過している。

「木工芸術スクール」(高山市)は、木工技術の習得に特化した即戦力となる人材育成を目指した訓練を行っている。同校の各施設は昭和61年3月竣工、築36年が経過している。

両施設とも老朽化が進んでおり、長寿命化や訓練環境の整備の観点から改修が必要である。

(2) 事業内容

○たくみアカデミー寄宿舍内部改修工事

・内部改修工事(全体工事費：87,552千円(令和6年度 5,966千円))

令和6年度 実施設計 5,966千円

令和7年度 改修工事(工事監理含) 81,586千円

○たくみアカデミー職業能力開発校本館棟照明改修工事

・照明改修工事(全体工事費：14,175千円(令和6年度 1,657千円))

令和6年度 実施設計 1,657千円

令和7年度 改修工事 12,518千円

○木工芸術スクール体育館及び寄宿舍屋根外壁改修工事

・外壁改修工事(全体工事費：101,113千円(令和6年度 6,197千円))

令和6年度 実施設計 6,197千円

令和7年度 改修工事(工事監理含) 94,916千円

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・施設改修（工事費用のみ） 1/2（対象面積に対する補助）
厚生労働省：職業能力開発校設備整備等補助金 活用

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	13,728	設計委託料
事務費	92	業務旅費58千円、燃料費34千円
合計	13,820	

決定額の考え方

長寿命化工事の年度間の平準化のため、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第10次岐阜県職業能力開発計画

第4 職業能力開発の基本的施策

1 誰もが自分らしく活躍できるための人材育成

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

職業能力開発促進法に基づき設置・運営している県立職業能力開発訓練施設の適正な維持管理を行う。令和6年度は国際たくみアカデミー職業能力開発校及び木工芸術スクールについて、長寿命化を目的とする改修を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

職業能力開発促進法に基づき設置・運営している職業能力開発訓練施設の適正な維持管理のための改修であり、数値的な指標を設けることは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	国際たくみアカデミー職業能力開発校配管改修工事、短大校屋根外壁改修工事、短大校空調設備改修工事、令和3年度に予定する開発校本館外壁改修工事の実施設計を行った。木工芸術スクール実習棟B屋根外壁改修工事、高圧受電設備改修工事、体育館玄関スロープ設置及びトイレ改修工事、令和3年度に予定する電気設備（LED化）改修工事の実施設計を行った。前年度に設計を完了させることにより、次年度工事に必要な期間を確保することが可能となった。
令和3年度	工事实績なし。
令和4年度	老朽化していた国際たくみアカデミー視聴覚室及びたくみホールの音響、映像設備の更新を行い、質の高いオンライン訓練の実施が可能となった。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	開発校は築40年、木工芸術スクールは築36年経過。施設の老朽化が進んでおり、長寿命化の観点から改修が必要。また、訓練生に対しての訓練環境を整備するため改修を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	改修などの施設整備を行うことにより、常時適法な状態に維持管理することができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	適正な建物の維持管理・訓練生の訓練環境を整備することができる。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 建物の定期的な保守点検・維持管理が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 各校の建物状況に応じて適正な建物の維持管理を行っていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	